

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

当院における進行卵巣・卵管・腹膜がんに対する維持療法の後方視的研究

1. 研究の対象

2021年6月1日 から 2024年1月31日 までの間に、当院の産婦人科で卵巣、卵管、腹膜がんで、化学療法後の維持療法を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2025年12月31日 まで

25、1、6

3. 研究目的・方法

目的

下記の診療情報等を利用し、卵巣・卵管・腹膜がんに対する、術後化学療法後の維持療法の有効性を調査することを目的にした研究を実施します。そのために、当院において産婦人科で手術療法を受けられた卵巣・卵管・腹膜がん方の、診療情報をもとにデータを調べます。

方法

この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・情報：年齢、身長、体重、問診表の記載内容、内服歴、既往、診断名、病期分類、組織型、相同組み換え修復欠損(homologous recombination deficiency : HRD)の有無、BRCA 病的バリエーション（遺伝性乳癌卵巣癌症候群の原因遺伝子）の有無、治療内容（術式、手術完遂度、化学療法および維持療法の種類と投与期間、検査結果、画像診断結果、再発の有無、生存状態
- ・試料：該当しない

5. 情報の提供先・提供方法

単施設研究であり該当しない

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2380）

研究責任者 産婦人科 吉田 浩

問い合わせ担当者 産婦人科 矢坂 美和